

平成29年度 武蔵野美術大学 大学院造形研究科

修士課程[A日程]入学試験 入学試験問題一覧

美術専攻	造形理論・美術史コース	小論文
		外国語（英語）
		専門基礎(筆記試験)
芸術文化政策コース	小論文（英語含む）	
デザイン専攻	視覚伝達デザインコース	小論文および設問
	工芸工業デザインコース	小論文
	建築コース	小論文（英語含む）
	映像コース	小論文
	写真コース	小論文
	デザイン情報学コース	小論文
外国語（英語）		

※ 平成28（2016）～平成24（2012）年度 大学院造形研究科 修士課程[A日程]入試の過去問題は本学ホームページ上に掲載しています。

[大学ホームページ](#)→[受験生の方へ](#)→「ムサビを受験する」のなかの「[入試関連情報](#)」→[過去の入試問題](#)

平成29年度 大学院造形研究科 修士課程[A日程]入学試験問題

■美術専攻 造形理論・美術史コース

○小論文（2時間）

【問題】

ロンドンでは国立の美術館、博物館が無料で公開されています。普段、美術に接しない人たちもつめかけて、鑑賞マナーの乱れが問題になっています。文化的な展示施設の今後の「啓蒙」と「学術性」維持のあり方について、あなたの考えを述べなさい。（1,000字以内）

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット

■美術専攻 造形理論・美術史コース

○外国語（英語）（1時間）

【問題】

以下の英文を読み、「 」内を日本語に訳しなさい。

—英文省略—

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚

出典：Dana Arnold, Art History : A Very Short Introduction,
Oxford 2004

■美術専攻 造形理論・美術史コース

○専門基礎（筆記試験）（1時間）

【問題】

次の事項の中から任意に5つを選び、各事項の説明を解答用紙に簡潔に記述しなさい。

1. プリマ・ポルタのアウグストゥス像
2. 産業工芸試験所
3. マルク・シャガール
4. 燕子花図屏風
5. ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ
6. 「住宅は住むための機械である」

7. バーミヤン
8. 鳥占い師の墓
9. 原弘
10. バーネット・ニューマン
11. バイヨン（カンボジア）
12. 「レイ・イズ・モア」
13. レッド・アンド・ブルー・チェア（ヘリット・トーマス・リートフェルト）
14. マサッチョ
15. 観音菩薩
16. ジャック・ルイ・ダヴィッド
17. 無限性
18. 秋田蘭画
19. スコパス
20. 歌川国芳

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×1セット

■美術専攻 芸術文化政策コース

○小論文（英語含む）（2時間）

【問題】

別紙の文章は、藤田直哉のエッセイ「地域アートになる現代アート」である。この著者の意見を要約し、その見解に対するあなたの考えを述べなさい。（1,200字以内）
またその要旨を200ワード程度の英文でまとめなさい。

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚（別紙省略）
出典：藤田直哉編著『地域アート 美学／制度／日本』堀之内出版、
2016年、17頁～20頁
3. 原稿用紙×1セット
4. 解答用紙（英語用）×1枚
5. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 視覚伝達デザインコース

○小論文および設問（2時間）

【小論文1】

あなたが大学院で研究したいテーマとその内容、手法について400字以内に要約して、具体的に記述しなさい。なお、小論文には必ず表題（タイトル）を20字以内でつけなさい。

【小論文2】

日本への外国人旅行者の数は下の表のように2005年には約700万人、2013年に約1000万人だったものが2015年には約2000万人に達しています。この旅行者数の急激な増加の原因としては、アジア地域の経済成長、インターネット上での情報の普及、2006年の日本政府による「観光立国推進基本法」の成立や2008年の観光庁の発足、旅行にかかる費用の低下、日本国内でのユネスコ世界遺産の登録数の増加、観光を中心とした地方創生のプロジェクト、大地の芸術祭や瀬戸内国際芸術祭などの国際芸術祭の開催、アニメ、サブカルチャーなど日本独自の文化の影響などが考えられます。

そして外国人旅行者数の急激な増加に伴い、日本各地で、下に書いた[キーワード]などに関連した様々な変化や対応が考えられています。

そこで、日本における「観光」と「視覚伝達デザイン」との関係についてあなたの考えを1,200字以内で記述しなさい（[キーワード]以外のことでも構いません）。

なお、小論文には必ず表題（タイトル）を20字以内でつけなさい。

[表]

—表省略—

日本政府観光局（http://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003_tourists.pdf）

[キーワード]

誘導案内、旅行ガイド、ホテルや航空券などの予約、翻訳、音声ガイド、旅行中の危機管理体制、景観保全、ボランティア、有形無形文化財や特産物の告知方法、ウェブページやスマートフォンなどでの情報発信と取得など

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。
タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 【小論文1】用 原稿用紙×1枚
3. 【小論文2】用 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

■デザイン専攻 工芸工業デザインコース

○小論文（2時間）

【問題】

デザインの社会的責任について自由に論じなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚

■デザイン専攻 建築コース

○小論文（英語含む）（2時間）

【問題1】

別紙の英文は、本“How to make a Japanese house 日本の家の作り方”からの記述である。

これを読んで下記の問いに答えなさい。

1. 下線部を日本語に訳しなさい。
2. 木材の弱さについてどのように記述されているか日本語でコメントしなさい。
（100字程度）

【問題2】

日本の歴史的建造物と現代の建築を例にあげ、自然素材の使われ方についてそれぞれの特徴と違いを論述しなさい。（原稿用紙600字以内）

[条件]

原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚（別紙省略）
出典：Cathelijne Nuijsink “How to make a Japanese house 日本の家の作り方” nai010publishers
3. 【問題1】用 解答用紙×1枚
4. 【問題2】用 原稿用紙×1枚

■デザイン専攻 映像コース

○小論文（2時間）

【問題】

ある映像作家は次のように述べている。

「美しい写真、美しい映像ではなく、
必要な写真、必要な映像。」

この文をふまえて、あなたの思うことを論じなさい。

（1,000字以内、タイトルを20字以内でつけること）

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。
タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 写真コース

○小論文（2時間）

【問題】

動画、CGと写真の関係性について1,200字以内で自由に論じなさい。

また、論旨を明確に表現するタイトルを20字以内でつけなさい。

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。
タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 デザイン情報学コース

○小論文（2時間）

【問題】

2010年代以降の高度情報化社会を説明する上で取り上げられるキーワードの代表的なものとして「IoT（Internet of Things）」と「ビッグデータ(big data)」がある。

IoTは、いろいろなモノ（デバイス）がインターネットと接続されてデータ通信することで、ユーザ操作を自動化したり、モノ同士が互いに制御・管理する仕組みである。例えばICカードを利用した料金支払いシステムやスマートフォンが他のプロダクトとインターネット経由で連携してユーザの要求を達成することもIoTの一つだといえる。一方、ビッグデータは、自然科学や経済社会などの様々な動向を膨大なデータとして集積したものである。ビッグデータによって自然災害のシミュレーションや国際経済の詳細な動向を可視化できるようになった。

IoTとビッグデータのそれぞれに関して、その将来性について自分が考えるところを論じなさい。また、これらを組み合わせることで生み出せる新しいサービスや仕組みを可能な限り独自性がある具体例を創造し、説明しなさい。（1,200字以内）

【条件】

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

【配付物】

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 デザイン情報学コース

○外国語（英語）（1時間）

【問題】

以下の英文のうち、四角で囲まれた部分を日本語に訳しなさい。

（出典は、Mary Lynn Manns, Linda Rising 著『Fearless Change』p228-229より抜粋）

*解答用紙のみ提出しなさい。

—英文省略—

【配付物】

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚

平成29年度 武蔵野美術大学 大学院造形研究科

修士課程[B日程]入学試験 入学試験問題一覧

美術専攻	日本画コース	実技（素描）
		小論文
	油絵コース	小論文
	版画コース	小論文
	彫刻コース	実技（デッサン）
		小論文
	造形理論・美術史コース	小論文
		外国語（英語）
専門基礎（筆記試験）		
芸術文化政策コース	小論文（英語含む）	
デザイン専攻	視覚伝達デザインコース	小論文および設問
	工芸工業デザインコース	小論文
	空間演出デザインコース	小論文
	建築コース	小論文（英語含む）
	基礎デザイン学コース	外国語（英語）
		小論文
	デザイン情報学コース	外国語（英語）
		小論文

※ 平成28（2016）～平成24（2012）年度 大学院造形研究科 修士課程[B日程]入試の過去問題は本学ホームページ上に掲載しています。

[大学ホームページ](#)→[受験生の方へ](#)→「ムサビを受験する」のなかの「[入試関連情報](#)」→過去の入試問題

平成29年度 大学院造形研究科 修士課程[B日程]入学試験問題

■美術専攻 日本画コース

○実技（素描）（6時間）

【問題】

自己の作品制作を想定してモデルを自由に描きなさい。

（画面の下部に20字以内で制作意図を書くこと）

[条件]

1. 答案用紙は縦横自由。

[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙（木炭紙または画用紙から選択）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■美術専攻 日本画コース

○小論文（2時間）

【問題】

現代美術としての日本画の新たな可能性について考えるところを述べなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

■美術専攻 油絵コース

○小論文（2時間）

【問題】

絵画における「写実性」について考えるところを述べなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

■美術専攻 版画コース

○小論文（2時間）

【問題】

版画制作における「刷り」がもつ、他の表現メディアとは異なる意義とは何か、自分の考えを述べなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■美術専攻 彫刻コース

○実技（デッサン）（6時間）

【問題】

与えられた用紙の中に、これから展開しようとする自己の作品を実物大で描きなさい。
なお、全体が入りきらない場合は、主要部を描くこと。

[条件]

1. 描画材料は木炭、鉛筆、コンテ（選択自由、併用可）。
2. 答案用紙（画用紙）は縦横自由。

[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙（画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚

■美術専攻 彫刻コース

○小論文（2時間）

【問題】

あなたが現在、最も注目する美術家の作品について述べなさい。評価の理由も示しなさい。（1,000字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する事。
2. 氏名欄は全頁記入する事。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット

■美術専攻 造形理論・美術史コース

○小論文 (2時間)

【問題】

大学美術館の展示、収蔵、研究に果たす役割について述べなさい。(1,000字以内)

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する事。
2. 氏名欄は全頁記入する事。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット

■美術専攻 造形理論・美術史コース

○外国語 (英語) (1時間)

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。

—英文省略—

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚

■美術専攻 造形理論・美術史コース

○専門基礎 (筆記試験) (1時間)

【問題】

次の事項の中から任意に5つを選び、各事項の説明を解答用紙に簡潔に記述しなさい。

- 1 ゴシック美術 / 2 ジョージ・ネルソン / 3 日月山水図屏風 (金剛寺) /
- 4 高麗青磁 / 5 ドリュフォロス / 6 ヴェネツィア・ビエンナーレ /
- 7 ガッタメラータ騎馬像 / 8 ニコラ・プッサン / 9 ユニテ・ダビタシオン /
- 10 秘儀荘の壁画 / 11 フランクフルト・キッチン / 12 瓢鮎図 /
- 13 ドーリア式オーダー / 14 探幽縮図 / 15 百済観音像 / 16 ヨーゼフ・ホフマン /

17 ギュスターヴ・モロー／18 ヴァシリー・チェア／19 莫高窟／20 山田守

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×1セット

■美術専攻 芸術文化政策コース

○小論文（英語含む）（2時間）

【問題】

別紙は、坂口安吾の「日本文化私観」（1942年、昭和17年）の一部である。

これを読んで、あなたの考える「日本文化の本質」について、書きなさい。（1,200字以内）

その要旨を、200ワード程度の英文にまとめなさい。

[条件]

1. 小論文は配付された原稿用紙に、指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚（別紙省略）
出典：坂口安吾『日本文化私観』講談社文芸文庫、2003年、111頁－119頁
3. 原稿用紙×1セット
4. 解答用紙（英文用）×1枚
5. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 視覚伝達デザインコース

○小論文および設問（2時間）

【小論文1】

本学科大学院において計画している、あなたの研究テーマを100字以内で記述しなさい。

さらに、その研究の社会的意義を400字以内で記述しなさい。

【小論文2】

配付されたポスター（別紙）はIBM（International Business Machines Corporation）社の企業イメージポスターであり、20世紀グラフィックデザイン史のなかで頂点を示す作品の一つであると言われている。視覚伝達デザインの観点から、このポスターについてあなたの考えを1,200字以内で記述しなさい。その際、必ず20字以内のタイトルをつけなさい。

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 【小論文1】では、原稿用紙の1行目から解答文を記入するが、次の順で記入する。
記入の順：100字以内の研究テーマ → 1行改行 → 400字以内の研究の社会的意義。
3. 【小論文2】は、原稿用紙の1行目に20字以内のタイトルを記入し、2行目から解答文を記入する。
4. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 【小論文1】用 原稿用紙×1枚
3. 【小論文2】用 原稿用紙×1セット
4. 別紙（IBMのポスターの図版）×1枚（別紙省略）
出典：新島実監修『新版 graphic design』武蔵野美術大学出版局、2012年、003頁
5. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

■デザイン専攻 工芸工業デザインコース

○小論文（2時間）

【問題】

アノニマスデザイン —作者不詳の、デザイナーの関与しないデザイン、民芸など— について具体的な例を挙げ、自らの考えを論じなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚

■デザイン専攻 空間演出デザインコース

○小論文 (2時間)

【問題】

大学院に入ってあなたはどのような事を研究するつもりですか。その考えに至った経緯(きっかけ)や環境について述べなさい。また、その研究はあなたの将来にどのように影響を及ぼすと期待しますか。(1,200字以内)

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

■デザイン専攻 建築コース

○小論文(英語含む) (2時間)

【問題1】

別紙1の英文は、20世紀を代表する都市としてニューヨーク・マンハッタンと、そこで発達を遂げた特異な建築、たとえば複合した機能を備えたスカイスクレーパーを論じた『Delirious New York (錯乱のニューヨーク)』の一部である。その建築「ダウンタウン・アスレチック・クラブ」は、限られた土地(グリッドに細分化されている)にアスレチックに関わるさまざまな機能を収めた超高層ビルである。それぞれの階には異なった機能や施設が収められ、現代のアスレチッククラブからは考えられない設備と光景が描写されている。

この英文を読み、以下の註および添えられた別紙2、3の図版(断面図および平面図、フロアの写真)を参考として、以下の問いに答えなさい。

1. 下線部Aを日本語に訳しなさい。
2. 下線部Bを日本語に訳しなさい。

註1：この医者、〈洗腸療法（Colonic Irrigation）〉を専門に行う。この療法は、腸内に人工培養菌を注入して身体の新陳代謝を改善することで、男性を若返らせるという。

註2：〈コニーアイランドの愛の筒（Coney Island's Barrels of Love）〉は、超高層ビルがマンハッタンに立ち並ぶ以前、対岸（コニーアイランド）に作られた遊園地のアトラクション。横に寝かされた大きな樽（たる）は客が入ると転がり出し、知らない（男女）同士も親密になるという仕掛けのこと。

註3：〈空の牧場（meadows aloft）〉は、1909年、素人が楽天的に描いた超高層ビルの断面図。各階には戸建ての郊外型住宅が広大な庭とともに描かれている。地上から離れ上階に行くほど澄んだ空気を手に入れられるとした。

【問題2】

『Delirious New York（錯乱のニューヨーク）』の筆者、建築家レム・コールハースが設計した建築、たとえばアメリカ・「シアトル公共図書館」では、複合した機能・施設を垂直に重ね、外部にそのありさまを表している。わが国でも、たとえば六本木ヒルズ最上階に美術館がつくられ、足元のショッピングモールと相まって大勢の入館者を集めている。かつて市庁舎やカテドラルあるいは劇場や図書館など、公共的な建築は単一機能で、街のなかでモニュメンタルな外観を持ち、存在感を示していた。ところが現代の都市においては、公共的な建築でも複合建築化する例に事欠かない。

あなたが考える、現代都市に相応しい複合建築とは、どのようなものですか。

機能、施設、サービスなど、具体的な建築のプログラムを例示しながら、600字以内（日本語）で論述しなさい。

[条件]

【問題2】用の原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×3枚（別紙省略）
出典：Rem Koolhaas, “Delirious New York”, 010 Publishers, 1994 (first published in 1978)
3. 【問題1】用 解答用紙×1枚
4. 【問題2】用 原稿用紙×1枚

■デザイン専攻 基礎デザイン学コース

○外国語（英語）（1時間）

【問題】

この英文（ヘルベチカ書体について述べたエッセイからの抜粋）をすべて和訳しなさい。
—英文省略—

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 基礎デザイン学コース

○小論文（2時間）

【問題】

「乗用車の自動運転について語りなさい」
インフォメーションテクノロジーや人工知能、交通網などのデジタルテクノロジーの進化などによって、加速度的に進化しようとしている乗用車。その自動化について考察し、記述しなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

■デザイン専攻 デザイン情報学コース

○外国語（英語）（1時間）

【問題】

以下の英文のうち、枠線で囲まれた部分を日本語に訳しなさい。
（出典は、Richard Poulin 著『The Language of Graphic Design』p.173-177 より抜粋）
—英文省略—

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚

■デザイン専攻 デザイン情報学コース

○小論文 (2時間)

【問題】

『HELLO WORLD 「デザイン」が私たちに必要な理由』(アリス・ローソン著、石原薫訳、フィルムアート社、2013年)の中で、第1章「デザインとは何か」と第2章「デザイナーとは何か」の冒頭には次の引用文が掲げられています。それらを参照しつつ、必要性の有無を含めて専門教育以前のデザイン教育に関するあなたの考えを述べなさい。

(タイトルを含め1,200字以内)

—引用省略—

[条件]

1. 一行目はタイトル(15字以内)とすること。
2. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚